

④⑥【新潟県立柿崎病院】

住 所	〒949-3216 新潟県上越市柿崎区柿崎6412-1		病床数：55床
診療科目	内科、外科、眼科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、(脳神経内科)、脳神経外科		
研修責任者名	太田 求磨 (院長)	連絡先：kejeika@kakizaki-hp.niigata.jp 025-536-3131 (代表)	連絡先担当者名：本保 信義 (経営係長)
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：3人、24年度：3人、25年度：3人、26年度：6人、27年度：2人、28年度：1人、29年度：2人、30年度：1人、令和元年度：2人、2年度：2人、3年度：1人、4年度：2人 ・その他プログラム採用 平成23年度：4人、24年度：5人、25年度：4人、26年度：4人、27年度：3人、28年度：5人、29年度：2人、30年度：4人、令和元年度：5人、2年度：7人、3年度：8人、4年度：11人		
研修受け入れ可能診療科		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：地域医療		総合内科専門医 1人、日本呼吸器学会専門医 1人、日本老年医学会専門医 1人、日本感染症学会専門医 1人	日本感染症学会指導医 1人
施設の概説・特徴			
新潟県上越市北に位置し、明治8年に創立され、140年の歴史がある。キャッチフレーズは、「親切、信頼、安全、安心、愛される病院」(2S3A)、「きれいな病院、明るい病院、喜ばれる病院、また来たい病院、笑顔のある病院」、「自ら考え働く病院」、「開かれた病院」3K「感謝、感動、関心」職場である。プライマリケア、救急医療、訪問診療・看護の提供は勿論のこと、地域医療病院として、「地域づくりに役立つ」活動を積極的に行う。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
総合診療科を平成28年に設立し、様々な症状に対する初期診療に対応する能力を身に付けることを目標としている。従来の初期臨床研修では、入院診療に重きを置いているが、臨床医として、初診外来診療や再診への対応する能力が求められる。指導医とともに初診患者のマネジメントを行う。初診1回では、対応することができない場面もあり、数回に分けて問題解決していくことや、治療効果を外来で判定し、治療効果を実感する経験をする中で、臨床医としての能力向上を図る。一つの診療科のみでなく、複数の診療科にまたがって受診する患者の健康問題、ポリファーマシーなど今後の医療で重要な問題点の視点を身に付ける。また、基幹病院と地域医療提供する医療機関の役割、病院のみでなく、地域の複数の医療、介護提供する機関でのケアの提供体制を経験していく。			
研修医の当直			
原則1人当直である。内科拘束医が待機しており相談できる。問診、診察、検査指示、その結果判断など、プライマリケアの救急を経験できる。心肺蘇生、気管内挿管、気管支鏡を使用した挿管と吸引、中心静脈カテーテル挿入、尿路カテーテル挿入、上部消化管内視鏡、腹部エコー、胸腔穿刺法、腹腔穿刺法など、各種手技を経験できる。			
処 遇			
<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次(月額基本給)350,000円、2年次(月額基本給)400,000円 (諸手当) 通勤手当：上限44,100円(車の場合通勤距離が2km以上ある場合、距離に応じ支給)、 時間外手当：勤務時間外に診療行為を行った実務時間に対し支給、 当直手当：1年次10,500円/回、2年次21,000円/回(5時間未満は1/2) ●食事：病院での食事の提供はなし。朝・夕食は自炊または外食、昼食は業者配達弁当または出前。付近にコンビニが2軒有り。 ●宿舎：借り上げ宿舎あり 住居手当あり(上限27,000円) ●居室：専用デスク有り。 ●図書・文献：小図書室有り。いくつかのジャーナルの定期購入を行っている。インターネット検索ができる。必要な文献は、県立病院中央図書室である県立がんセンター新潟病院図書室に依頼して、取り寄せ可能である。 ●インターネット環境：各自の机からインターネット接続可能(無線LAN使用)。 			